

里山保全とマツタケ山の整備に取り組む

なかやま・よしお(77)=国重=

道具もすべて初めて使うという に関しては、まったくの素人。 と思った」と振り返る。 々の作業内容を決めた。「山 吉村先生の著書などを教科書 全よりも再生することが先だ 5年計画の計画表を作り、

手探り状態から始まった」。



ている。



演を聴いたこと。「放置された どうすれば昔の山にできるか 彦氏(京都大学農学博士)の講 れたマツタケ生態学者、 人ることを決心した。 山ではマツタケが出なくなる 自分もやってみたい」と山に きっかけは、珠洲市で開催さ いう話を聞いた中山さんは 吉村文

ともに歩けないほど荒れてい 早速山を歩いてみたが、「ま ジャングルのようだった。

われた。 ても参考になった」と話す中山 受け、地掻き作業を続けている。 さん。現在は吉村先生の指示を 備な点を指摘してもらった。と 林の状況を調査。意見交換が行 タッフら12人が現地に入り、 「マツタケ山にするまでに不

ツタケ山復活させ隊』のメン の視察に訪れ、指導を行った。 ーや里山里海自然学校のス

続ける中山さん。その取り組み 業にする土壌が能登にはある」 だった。これからはマツタケを を出すまで時間はかかるが、 主産物として栽培したい。 77歳になっても勉強と挑戦を -タは『能登の里山』にとっ その副産物がマツタケ 化が現れたのは3年目 松林を10景四方40区画に整理 保全作業を続けた。山に変

里山保全で植生が変化

「山にほれ込んだら、

山も反

野草の観察は、 の一つになった」 良い環境なのだと分かった。 も増えてきた。動植物にとって、 た山野草が増え、野鳥の鳴き声 「今まで咲いたことがなかっ 入れされた里山は住み心地が 山に入る楽しみ

恋人のように接している」と話 応を返してくれる。今では山と

中山吉男さん(77)=国重=

6年前から松林の手

入れを

## 視察と指導を受ける

計画の5年間を終えた中山さ

送る。ちょうど6月3・4日に 生は、4日午後に中山さんの山 講演のため能登を訪れた吉村先 んは、そのデータを吉村先生に 吉村先生と共に活動する『マ

の2世も育てている。 育つようになっている。中山さ これまで育たなかった松の苗も んは一つ一つに目印を付け、 「昔は燃料が必要で山に手を





【右】松林の土壌を調べる吉村文 彦先生。腐葉土部分(約5センチ) を地掻きすることを指示した。 【左】ササユリの花。花がいつ咲 くのか楽しみで山に足が向かう

# マツタケ山をデザイン

は今年2月に特許を取得した。具を発明。『採取移植パイプ』 教えていた。その経験を生かし て、マツタケの菌を移植する道 中山さんは、京都で生まれ育 工業高校で工業デザインを

まで頑張りたい」と決意を新た た。この山からマツタケが出る の大切さを里山に教えてもらっ 活動はエンドレス。続けること 「区切りの5年は終わったが

にしている。 松林をきれいにすることで、



8\_火点に向けて全力疾走する2番員。 9\_ポンプ車操法は、2つの火 点、大小小に同か、全力が定すると番貝。 3 ポンプ単操法は、2つの欠点にホースを延長し、放水して標的を倒すまでのタイムと動作を競う。 10 指揮者の号令に合わせて進む小隊訓練。隊の編制と隊形が審査される。 11 4分団が同時に競技を開始する小型ポンプ操法。タイムと動作、規律、節度を競う。











西谷幸一(不動寺・部長)▽ 長)▽木村尚司(宇出津第2・班利(高倉·班長)▽谷口充(秋吉· ▽四谷秀治(柳田・団員)

石川県消防協会長表彰

▽鵜川分団 ▽三波分団

1三波分団2上町分団3柳田分団

1三波分団2松波分団3小木分団

生分団 1上町分団2字出津第2分団3小間

①三波分団②宇出津第1分団③上町 行われる県大会に出場 分団は、7月30日田に県消防学校で ※ポンプ車操法の部で優勝した三波

▽町端哲(宇出津第2・分団長)▽ 幸幹夫(三波・副分団長)▽山本健 `・部長)▽岡村隆行(高倉・部長) .原文治(小間生・副分団長)▽天 (山田・部長) ▽石谷光男 (岩井

能登町長表彰

▽田口正一(元町消防団長)▽藤谷

政信 (元鵜川分団長) ▽菅原圭一 (元

[浩明(高倉・団員)

☆㈱三宅配管

スケープ開発代表取締役

石渕政信の妻) 石渕豊子(山田分団分団長、

能登町消防団長表彰 下谷内 充▽柳田庭園(堂前スケープ開発)代表取 代表取締役

見正人(小木・団員)▽嵐友宏(高精勤章▽宮下守(山田・団員)▽上 倉・団員)▽石渕浩司(山田・団員)

田・副分団長) 浩(白丸・副分団長)▽南正一(山 章▽新谷正仁(小木・分団長)

章▽山本明人(上町•班長)

間生・団員)▽瀨爪忠(秋吉・団員)



### ▽冨田浩史(松波・分団長)▽薮幸 一(鵜川・分団長)



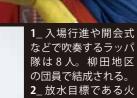
### 団員)▽松島徳造(小間生・団員) 動寺・団員)▽山口竜次郎(秋吉・ 祐圓(不動寺・団員)▽橋本章(不 ▽堂前利昭(小間生・班長)▽山本 谷一義(小木·団員)▽谷中栄俊(小 団員)▽安田潮(鵜川・団員)▽釣 司(三波·団員)▽竹下浩市(三波· ▽柴野立太(神野・団員)▽山谷聡

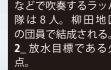


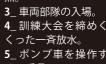
● 見まり結婚

ō









6\_第2線延長のため、 ホースを担いで走る 2 番員

7.操作開始後、1番 員と2番員が第1線 を延長し、3番員と4 番負が吸管を水利に延 ばす。

